

令和 6 年度の取組事例

【取組項目】

- | | |
|----------------------|--------------|
| ・円滑かつ迅速な避難のための取組 | ・・・ P1 ～ P37 |
| ・的確な水防活動のための取組 | ・・・ P38 |
| ・氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組 | ・・・ P39 |
| ・河川管理施設の整備等に関する事項 | ・・・ P40 |

自治体名：茨城県河川課

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	③ 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項
実施内容	簡易型河川監視カメラ・普通水位計の整備

令和6年度の取組状況

○今年度の整備背景

・令和5年6月の梅雨前線豪雨、9月の台風13号の出水状況を踏まえ、牛久沼周辺及び県北地域の河川（3河川）に河川監視カメラ、水位計を増設している。

○簡易型河川監視カメラの設置

・住民の適切な避難判断のための水位情報提供を目的に、河川監視カメラを新たに設置している。（7箇所）

※里根川（北茨城市）、東連津川（日立市）、鮎川（日立市）、谷田川（つくば市、龍ケ崎市）

○普通水位計の設置

・住民の適切な避難判断のための水位情報提供を目的に、牛久沼に普通水位計を新たに設置している。（1箇所）

※谷田川【牛久沼】（龍ケ崎市）



簡易型河川監視カメラの設置事例（日立市、つくば市）



普通水位計の設置事例（龍ケ崎市）



自治体名：茨城県河川課

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	洪水浸水想定区域図作成及び市町村への提供

令和6年度の取組状況

洪水ハザードマップの基礎資料となる洪水浸水想定区域図について、茨城県では、これまでに83河川について作成し市町村へ提供をしていたが、令和6年度4月30日付で47河川、11月28日付で46河川（過年度に一部区間を公表済みの河川を含む）について新たに作成した。未作成の河川については今年度中に作成する予定。

令和6年度新規作成河川一覧（11月公表）

【利根川水系】（10河川）

雁通川、蔵川、山田川、武田川、鉾田川、長茂川、稲井川、夜越川、城下川、梶無川

【那珂川水系】（20河川）

大谷川、緒川、国長川、小玉川、曲田川、小舟川、油河内川、野沢川、元沢川、熊久保川、七内川、和田川、東河戸川、仲河戸川、小田野川、相川、檜山川、大沢川、八反田川、千田川

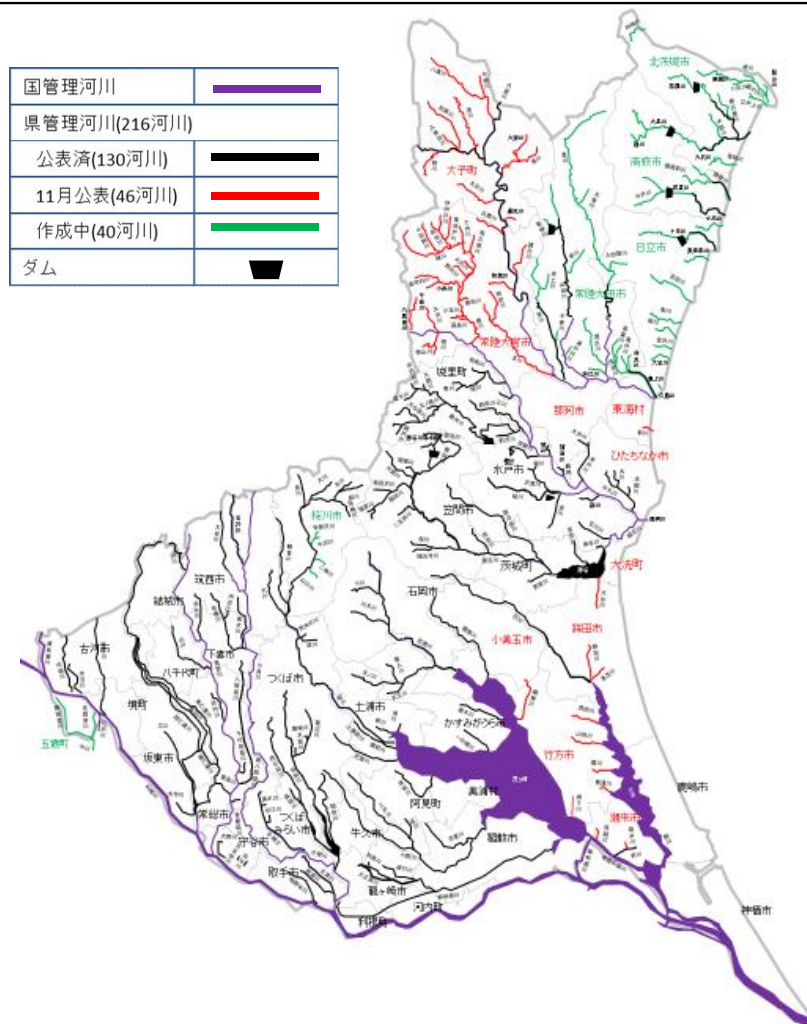
【久慈川水系】（15河川）

玉川、照田川、枇杷川、諸沢川、久隆川、湯沢川、大沢川、滝川、大野川、浅川、初原川、相川、久保田川、八溝川、中郷川

【新川水系（二級水系）】（1河川）

新川

県管理河川における洪水浸水想定区域図の作成状況（11月公表）



自治体名：茨城県防災・危機管理課

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	① 情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	避難力強化訓練の実施

令和6年度取組状況

◆災害発生時において住民が適時適切な避難行動を取ることが出来るよう、台風シーズン前の7月までに洪水ハザード内の全ての住民を対象とした避難力強化訓練を4市町（※）と連携して実施。

※常総市、かすみがうら市、五霞町、八千代町

＜主な訓練内容＞

- ・防災行政無線等による避難情報伝達訓練
- ・洪水ハザード住民を対象とするマイ・タイムラインを活用した避難所への避難訓練
- ・避難行動要支援者に対する支援の要否確認や搬送支援訓練
- ・避難所の開設・運営訓練（災害用トイレ、災害用ベッド、パーテーションの設置 など） 等



災害対策本部設置訓練



住民の避難訓練



避難行動要支援者の搬送支援訓練



住民によるダンボールベッド組立訓練

避難力強化訓練の様子

自治体名：茨城県防災・危機管理課

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	防災教育の促進（マイ・タイムライン作成授業の実施）

令和6年度取組状況

- 水害時の逃げ遅れによる人的被害ゼロに向け、住民が適切な避難行動を取れるようにするため、「マイ・タイムライン」の普及に努めている。
- 特に、県では国や市町村等と連携し、洪水ハザード内にある全小学校において「マイ・タイムライン」の作成授業を実施しており、災害の怖さや自分の命は自分で守る“自助”の大切さを認識してもらうなど、防災教育に取り組んでいる。
- 令和6年度実績（見込み）：全98校のうち56校について県で講師派遣予定（※）

※その他は国や市町村等で実施



マイ・タイムライン作成授業の様子

自治体名：水戸地方気象台

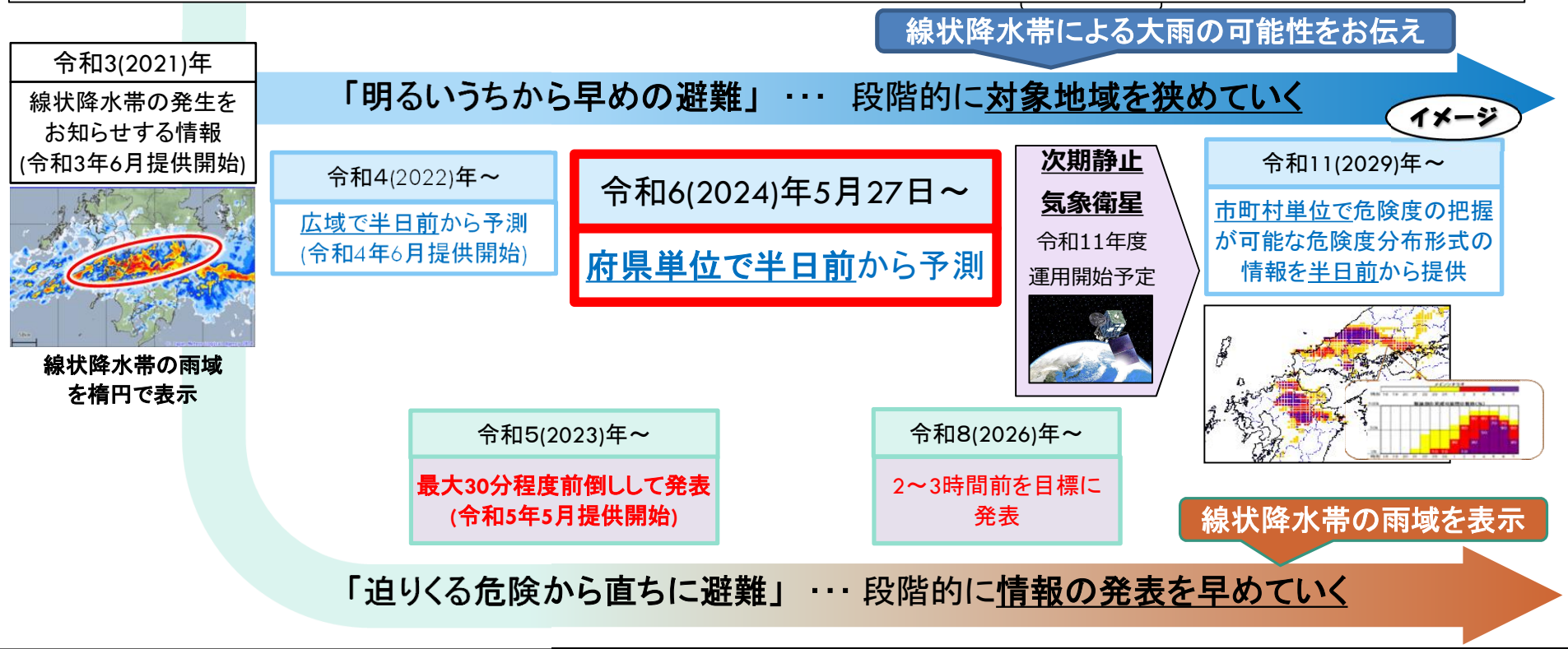
取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	① 情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認（水害対応タイムライン）

令和6年度の取組状況

【気象庁の防災気象情報の改善】

観測や予測の強化の成果を順次反映し、令和4年6月から、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを、令和5年5月から、「顕著な大雨に関する気象情報」（線状降水帯の発生をお知らせする情報）をこれまでより最大30分程度前倒して発表する運用を開始。

令和6年5月27日から、半日程度前からの呼びかけを府県単位で実施。



自治体名：水戸地方気象台

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	① 情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	防災情報等に関する説明会の開催

令和6年度取組状況

【本年度の水戸地方気象台の主な取り組み】令和6年10月現在

5月15日「災害対応講習会」（茨城県及び茨城県市長会・町村会との共催、Web開催）

5月23日、30日「気象防災ワークショップ」（Web開催）

6月27日「茨城防災気象連絡会」（対面、Webでのハイブリッド開催）

7月3日「久慈川・那珂川洪水予報業務に関する説明会」（常陸河川国道事務所との共催）

5月13日、27日、6月17日、7月19日、23日、8月9日、14日、23日、9月26日、11月1日 気象台いばらき防災TV（Web開催）

8月10日、15日、28日、30日 台風説明会（常陸河川国道事務所と合同、Web開催）

9月1日「日立市の防災士養成講座」災害関連情報と予報・警報に関する講演

9月28日、11月4日「いばらき防災大学」気象、地震に関する講演と気象庁ワークショップを開催



茨城防災気象連絡会の気象台の様子



気象防災ワークショップ（オンライン開催）の気象台側の様子

自治体名：水戸地方気象台

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	① 情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	タイムライン（ホットラインを含む）に基づく首長も参加した実践的な訓練

令和6年度の取組状況

【本年度の水戸地方気象台の主な取り組み】令和6年10月現在
市町村が行う各種訓練への参画し、シナリオ作成時の協力、訓練内でのホット
ラインの実施、訓練後の講演等を実施した。

- 6月19日 令和6年度日立市災害対策本部運営訓練
- 6月23日 茨城県・五霞町避難力強化訓練ホットライン
- 6月29日 令和6年度災害対応訓練（風水害）（常陸太田市）
- 6月29日 令和6年度豊浦学区自主防災訓練（日立市）
- 6月30日 高萩市総合防災訓練
- 7月6日 令和6年度下館西中学校区防災訓練（筑西市）
- 7月13日 茨城県・八千代町避難力強化訓練
- 7月14日 令和6年度稲敷市防災訓練
- 7月21日 鉾田市防災訓練
- 10月29日 ひたちなか市防災訓練



令和6年度日立市災害対策本部運営訓練の様子



鉾田市防災訓練での気象台展示の様子

自治体名：水戸地方気象台

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	防災教育の促進

令和 6 年度の取組状況

【本年度の水戸地方気象台の主な取り組み】令和 6 年10月現在

茨城県による令和6年度学校安全総合支援事業に当台職員が協力。

7月30日 学校安全中核教員勉強会（境町）において防災情報の利活用に関する講義を実施。モデル地域となっている境町の児童・生徒向けの防災ハンドブック作成に情報を提供し、助言した。

10月15日 境町特別支援学校が実施したVR・AR体験に出席して、その後の中核教員研修会において助言を行った

当台職員が五霞町における当該事業の実践委員会委員（自然防災アドバイザー）として参画した。

10月30日 中核教員勉強会等に出席して茨城大学教授による「防災とサステナビリティ学」の話や11月6日に行われるクロスロードゲームの実施に関する助言を実施



学校安全中核教員勉強会（県立境特別支援学校）



中核教員勉強会「防災とサステナビリティ学」の講義の様子（五霞町立五霞中学校）

自治体名：水戸市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	「令和6年度台風に備えた防災訓練」における防災情報の発信

令和6年度の実施状況

令和元年台風第19号の教訓を踏まえ、市災害対応力の強化を図るとともに、市民の皆様には防災意識をより強く持っていただくため、洪水発生時を想定した情報伝達訓練を実施した。

実施日：令和6年9月18日（水）※例年、防災の日に合わせて9月1日に実施している

【訓練概要】

・防災行政無線（避難指示サイレン吹鳴）、防災ラジオ、防災メール、SNSを用いた市の防災情報の発信。市民の皆様には、訓練情報を確認し、ハザードマップや避難経路、非常用持ち出し品の確認等、災害時の対応を再認識していただいた。

【その他実施した訓練】

- 1 協定締結団体への物資要請・供給報告訓練
- 2 洪水浸水想定区域内、土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設への情報伝達訓練
- 3 MCA無線機による情報伝達訓練
- 4 避難所指定動員を対象とした避難所開設訓練

【情報伝達ツール】



防災行政無線



防災ラジオ



MCA無線機

自治体名：日立市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	① 情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	災害対策本部運営訓練及び風水害対応研修の実施

令和6年度の取組状況

【訓練の概要】

近年頻発する豪雨災害に対する本市の災害対応力の強化を目的として、令和5年台風13号の気象状況をモデルに、本部会議の設置から、避難所の開設指示や避難情報の発令、各部各班の初動対応などを確認する訓練を実施した。

(災害対策本部運営訓練)

併せて、気象庁等が発表する防災気象情報や線状降水帯の予測精度向上に向けた取組など、風水害に関する防災講話を水戸地方气象台に依頼し、実施した。(風水害対応研修)

【日時及び場所】

令和6年6月19日（水）午前10時から正午まで 日立市役所本庁舎4階 災害対策本部室

本部運営訓練



風水害対応研修



自治体名：古河市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	① 情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	令和6年度 古河市地域防災訓練の実施

令和6年度の実施状況

- ・ 令和6年6月30日、水害を想定し、浸水想定区域内から区域外の避難先まで、訓練参加者自身の車で実際に避難をおこなう実働型の「古河市地域防災訓練」を実施
- ・ 同日訓練会場にて、市職員向けのシナリオ訓練、バス避難訓練、救急救命訓練等も実施
- ・ 関係者を含め、約590人が訓練に参加



自治体名：石岡市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	住民が参加する避難訓練

令和6年度の取組状況

- ①目 的 近年、台風や集中豪雨等により、全国各地で甚大な水害が発生している中で、自分の命は自分で守るための「備え」や「行動」が重要になる。「自分だけは大丈夫」、「過去に浸水したことがないから大丈夫」など過信はせずに、命を守る避難行動や避難方法を確認するとともに、住民一人ひとりの防災に対する理解と防災意識の高揚を図り、地域防災力の向上を目的に実施する。
- ②日 時 柿岡地区・恋瀬川流域 令和6年6月23日（日） 9:00～11:00
高浜地区 令和6年6月30日（日） 9:00～11:00
- ③会 場 柿岡小学校及び城南スポーツ交流施設（旧城南中学校）
- ④想 定 恋瀬川の水位の上昇により、柿岡地区及び高浜地区に、警戒レベル4 避難指示を発令した。これにより、避難所を開設したため、土砂災害や氾濫の危険のある方は、全員避難を開始する。
- ⑤内 容
- ・避難訓練
 - ・避難所開設・運営訓練（避難所体験）
 - ・防災講話（茨城県防災士会及び茨城県防災・危機管理課）
 - ・土のう作製実習



自治体名：結城市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	浸水想定区域の自主防災会を対象に避難訓練及びマイ・タイムライン作成講習会

令和6年度の実施状況

・目的

出水期に備え、浸水想定区域の自主防災会を対象に避難訓練及びマイ・タイムライン作成講習会を実施し、市民の防災意識の向上を図る。

・訓練内容

- ① 8時30分 各自主防災会は各地区の児童会館に集合
- ② 8時45分 避難訓練に関する防災無線を放送
- ③ 訓練参加者は、防災無線を聞いたら避難開始
各防災会は、避難行動要支援者宅を経由し、避難
- ④ 9時 指定避難所に避難完了。
各防災会で避難人数を確認し、逃げ遅れがないか確認し、報告。
- ⑤ 集合したら、指定避難所の大広間に移動。
- ⑥ 大広間にて、水害対策（災害）に関する講習及びマイ・タイムライン作成講習会を実施。



自治体名：常総市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	住民参加型広域避難訓練

令和6年度の取組状況

○ 台風による洪水を対象とし、避難指示等発令に着目した常総市からつくば市への広域避難訓練

【開催日】 令和6年10月13日（日）9時～11時30分

【訓練対象地区】 常総市五箇地区

【訓練会場】 豊里柔剣道場：つくば市今鹿島4262

【訓練内容】

9時 避難指示発令（常総市五箇地区）防災行政無線

広域避難開始：対象地区（常総市五箇地区約35名参加）＊車移動

9時～ 避難所受け入れ開始

避難所到着後・・・順次、避難所に避難し、受付及び避難所設営を実施

○受付は、実災害時担当部署が対応

○受付後に、避難者が協力し間仕切りテント及びエアーマット、段ボールベッドの設営を行う（設営補助は、職員及び防災士が担当）

11時 避難所設営終了



自治体名：常総市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	在留外国人向け避難体験型マイ・タイムライン講習会

令和6年度の実施状況

- 平成27年9月関東・東北豪雨に伴う水害では、在留外国人も被災し、逃げ遅れが発生した。日本で暮らす在留外国人に水害の恐ろしさや防災行動について十分に伝わっていないことが課題となっていた。そこで、在留外国人の防災リーダーを育成することを目的とし、さらなる「逃げ遅れゼロ」の取り組み強化の一環として、避難行動を伝導するキーパーソンとなりうる在留外国人の方を対象にマイ・タイムラインの作成と避難の体験をセットで学ぶ講習会を開催した。

【開催日時】 令和6年10月19日（土）10時00分～12時30分

【開催場所】 常総市役所 議会棟2階 大会議室

【主 体】 常総市、下館河川事務所、河川情報センター

【実施内容】

{第1部} マイ・タイムライン作成体験

- ・川が溢れる怖さを知る
- ・洪水ハザードマップの見方を学ぶ
- ・マイ・タイムラインを作成する



{第2部} マイ・タイムラインに基づいた避難体験

- ・常総市が発表する避難情報の内容を学ぶ+
- ・作成したマイ・タイムラインに基づいて避難体験スペースへ避難
- ・避難所開設体験
(間仕切りテント、エアベッド設置)



自治体名：北茨城市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	① 情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認（水害対応タイムライン）

令和6年度の取組状況

市域への大雨警報（土砂災害、浸水害）の発表に伴う「高齢者等避難」の発令下における洪水及び土砂災害ハザード内の避難行動要支援者を対象とした搬送支援訓練を実施。

【訓練内容】

- ・ 災害対策本部設置
- ・ 防災行政無線等による防災情報の発令
- ・ マイ・タイムラインを活用した住民避難
- ・ 避難行動要支援者に対する避難支援の要否確認及び搬送
- ・ 避難所の開設、受入れ

【参加者】

- ・ 住民 55 人
- ・ 民生委員 3 人
- ・ 社会福祉協議会 4 人
- ・ 職員 43 人



災害対策本部訓練



避難支援要否確認



要支援者搬送訓練



避難者受付

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	浸水実績等の周知

令和6年度の取組状況

昨年9月の令和5年台風第13号による豪雨に伴う、建物の浸水や道路の冠水状況を記した「北茨城市冠水・浸水防災マップ」を作成。

全戸配布及び市内の公共施設や大型店舗等で配布し、大雨により被害が出やすい場所の目安として、今後の防災対策に役立つよう住民へ周知した。

【内容】

- ・ 作成部数 20,000部
- ・ 配布方法 全戸配布、公共施設及び市内大型店舗での配布
小中学校児童及び教職員への配布、市HPへの掲載
- ・ 掲載内容 浸水・冠水箇所、避難所や消防署等の表示
マイ・タイムライン、防災情報の取得方法等



取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	小学生を対象とした防災教育の実施

令和6年度の取組状況

○市内小学校で毎年実施し、災害時の避難行動について理解を深めるため
マイタイムライン作成講座を実施した。(令和2年度より継続実施)

【目的】

- ・地域と継続的な地域連携の防災訓練を実施することで地域と学校の繋がりを強化する。
- ・防災に関する体験活動を通じ、児童の危機管理能力を高める。

【参加者】

小学校児童、学校職員、取手市役所

【内容】

- ・マイ・タイムライン作成講座



自治体名：常陸大宮市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	小学生を対象とした防災教育の実施、住民が参加する避難訓練

令和6年度の取組状況

○小学生を対象としたマイタイムライン作成講習会の実施

【開催日時】 令和6年11月8日

【場所】 常陸大宮市立大宮北小学校

【参加者】 全校生徒54名

【目的】 マイ・タイムライン作成講習会を開催し、災害に対する知識を深めると共に、避難タイミングの確認や避難力の強化を図る。また、防災気象情報や避難情報の取得方法について学ぶ。



○常陸大宮市避難力強化訓練の実施

【開催日時】 令和6年7月21日

【訓練対象地域】 常陸大宮市内全域

【訓練想定】 大型で猛烈な台風による大雨の影響により、久慈川・那珂川の氾濫及び山間部における土砂災害の恐れがあるため、市内全域に対し避難情報を発令。住民はマイ・タイムラインを参考に避難し、避難後に防災講習会を通して自己の避難行動を確認する。

- 【内容】
- ① 災害対策本部開設・運営訓練
 - ② 情報伝達訓練
 - ③ 感染症対策を踏まえた避難所の開設・運営訓練
 - ④ 消防団、自主防災組織による避難支援訓練
 - ⑤ マイ・タイムラインに基づく市民の避難訓練
 - ⑥ 防災講習会
 - ⑦ 茨城県防災航空隊による救出訓練（市民は見学）



自治体名：那珂市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	小学生を対象とした防災教育の実施、住民が参加する避難訓練

令和6年度の取組状況

○小学生を対象とした防災講座の実施

【開催日時】 令和6年9月12日

【場所】 ばら野学園那珂市立五台小学校

【参加者】 小学5年生 生徒49名

【目的】 防災講座を開催し、災害に対する知識を深めると共に、避難タイミングの確認や避難力の強化を図る。また、避難所で使用する段ボールベッドの設営体験を行いました。



○那珂市防災訓練の実施

【開催日時】 令和6年6月19日

【訓練対象地域】 市内の浸水想定区域（久慈川・那珂川・大井川・早戸川沿い）及び土砂災害警戒区域

【訓練想定】 太平洋上で発生した大型で猛烈な台風第X号は、6月19日(水)には勢力を維持したまま関東南部に上陸する見込みで、既に記録的な大雨となっている地域もある。この台風の影響により、本市の避難情報発令の目安となる久慈川の富岡観測所及び、那珂川の野口観測所では、6月19日（水）10時頃に避難判断水位（富岡2.9m、野口4.1m）に到達、13時頃には氾濫危険水位（富岡3.5m、野口4.5m）への到達が予想され、その後も水位の上昇が見込まれることから、両河川において氾濫の危険性が高まっている。

【内容】

- ① 災害対策本部開設・運営訓練
- ② 避難所開設・運営訓練
- ③ 情報発信訓練
- ④ 住民避難訓練
- ⑤ 避難行動要支援者避難支援の確認・搬送訓練



自治体名：筑西市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	住民参加型の避難訓練及び防災に関する啓発の実施

令和6年度の実施状況

- ① 目 的 水害時の逃げ遅れ被害をゼロとするため、住民に対する迅速・的確な避難行動の普及啓発や、防災意識の向上を図ることを目的に実施。
- ② 日 時 令和6年7月6日(土) 午前9時00分～午前11時00分
- ③ 会 場 下館西中学校体育館
- ④ 想 定 大型で猛烈な台風の影響により、降雨量の増加及び河川の水位上昇が予想される中、流域住民に対し、適切なタイミングで避難情報を発令するとともに、住民はマイ・タイムラインを参考に避難を開始し、避難後に避難所の体験や防災講習会を受講し、自己の避難行動や避難の重要性を再認識する。
7月6日午前9時00分に鬼怒川が避難判断水位(2.4m)に到達し、「高齢者等避難」、午前9時15分に「避難指示」を発令。
- ⑤ 内 容
- 避難所開設訓練・運営訓練：下館西中学校体育館に避難所及び福祉避難所を開設。避難してきた住民の受入れ、運営訓練を実施。
 - 災害情報伝達訓練：防災行政無線・市登録メール配信サービス・市公式LINE・市公式X、Facebookにより、市民への情報伝達の実施
 - 避難行動要支援者への避難支援訓練及び搬送訓練：避難行動要支援者に見立てた避難者を避難所まで搬送する訓練の実施。
 - 協定企業ブース見学
 - 水戸地方气象台による防災講習会の実施



自治体名：坂東市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	「坂東市まちづくり出前講座」の実施

令和6年度取組状況

市民の皆さんと行政が力をあわせ、市民一人ひとりが生き生きと暮らす、豊かで住みよいまちづくりを推進するために、「坂東市まちづくり出前講座」を実施しています。

出前講座は、地震・洪水等の災害時、どのように対応すべきか？ 市の防災体制について、皆さんの要請に応じて市の職員が講師として、公民館や集会所等に出向く制度です。

出前講座では、企業の学習会、学校の授業、子ども会やPTA活動の一環として、スライドやビデオを使用して、防災に関する基礎知識や対応方法を気軽に学べる講座を実施しています。



防災出前講座
中矢作行政区
【令和6年6月15日】



マイ・タイムライン作成講座
坂東市立東中学校
【令和6年7月1日】



マイ・タイムライン作成講座
坂東市立中川小学校
【令和6年9月25日】

自治体名：稲敷市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	① 情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	市公式アプリにおける受信端末の導入

令和6年度の取組状況

当市では、防災無線戸別受信機の導入から相当年経過し、修理対応も困難なため情報発信手段を模索していましたが、令和4年度から稲敷公式アプリを導入し、災害時の情報発信にも活用しています。

導入後は、デジタルデバイド対応に苦慮していましたが、稲敷公式アプリ開発業者と協議・検討を続け、今年度、IP戸別受信端末を導入しました。

IP戸別受信端末の機能

- 稲敷市公式アプリ発信情報の音声での受信機能
- 発災時の安否確認機能

今後は、避難行動要支援者等の対応へも活用できればと、福祉部局との協議・検討をしていく予定です。

防災情報の発信媒体



稲敷市公式アプリ

- ・市からのお知らせ
- ・防災行政無線の放送内容
- ・ゴミ収集日程
- ・休日当番医
- ・広報稲敷
- ・デジタル窓口

などを確認できます。

ダウンロードはこちらから

IP戸別受信端末

電源を入れておけば、**自動**で防災行政無線の内容や市からのお知らせを**音声**にて流れます。

※数量に制限があるため、一定の条件にて配布させていただきます。ご希望の方は、危機管理課までお問合せください。

※防災行政無線戸別受信機の修理対応は令和5年3月31日をもって終了しております。防災行政無線戸別受信機は市から貸与しているものになります。不要になった場合は、危機管理課、もしくは各支所へ必ず返却してくださいますようお願いします。

稲敷市危機管理課 ☎029-892-2000

自治体名：かすみがうら市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	令和6年度水害から命を守るための避難訓練

令和6年度の実施状況

霞ヶ浦及び恋瀬川流域において水害が発生することを前提として、市民一人ひとりがとるべき行動「いつ」、「だれが」、「何をするのか」に着目して、水害に関する情報を得た場合の避難の仕方を身に着けることを目的とし、霞ヶ浦及び恋瀬川流域における浸水想定区域、または土砂災害警戒区域を含む行政区を対象に、令和6年度水害から命を守るための避難訓練を実施した。

【訓練実施事項】

- ・浸水想定区域、土砂警戒区域の行政区の住民による避難所への避難訓練
- ・要配慮者の避難を想定した避難訓練
- ・DWATと協力した避難訓練
- ・NPO法人茨城県防災士会による講演会
- ・土嚢作り体験
- ・防災士による避難所開設訓練



自治体名：つくばみらい市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	① 情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	つくばみらい市防災訓練を実施

令和6年度の取組状況

○つくばみらい市防災訓練を実施

令和6年7月6日、大雨を想定し、鬼怒川、小貝川の氾濫警戒情報及び大雨警報で、高齢者等避難（警戒レベル3）を発令し、その後、氾濫危険情報に基づき、避難指示（警戒レベル4）を発令した。

市は災害警戒本部を設置し、仮想の被害情報を付与することによる図上訓練を実施した。

また、全市民に防災行政無線及び防災アプリ等にて周知を行い、避難行動の確認、さらに一部市民は避難所へ避難する訓練を行った。

【訓練内容】

- ・災害警戒本部設置訓練
- ・防災行政無線・市防災アプリ・SNS等による避難行動の呼びかけ（全市民）
- ・避難行動要支援者に対する安否確認・搬送支援訓練
- ・避難所（富士見ヶ丘小学校）での防災士による防災クイズ
- ・下館河川事務所による市職員向けの川の防災について講演
- ・常総警察署警備課長による防災講話 等



情報共有室の様子



避難所での防災クイズの様子

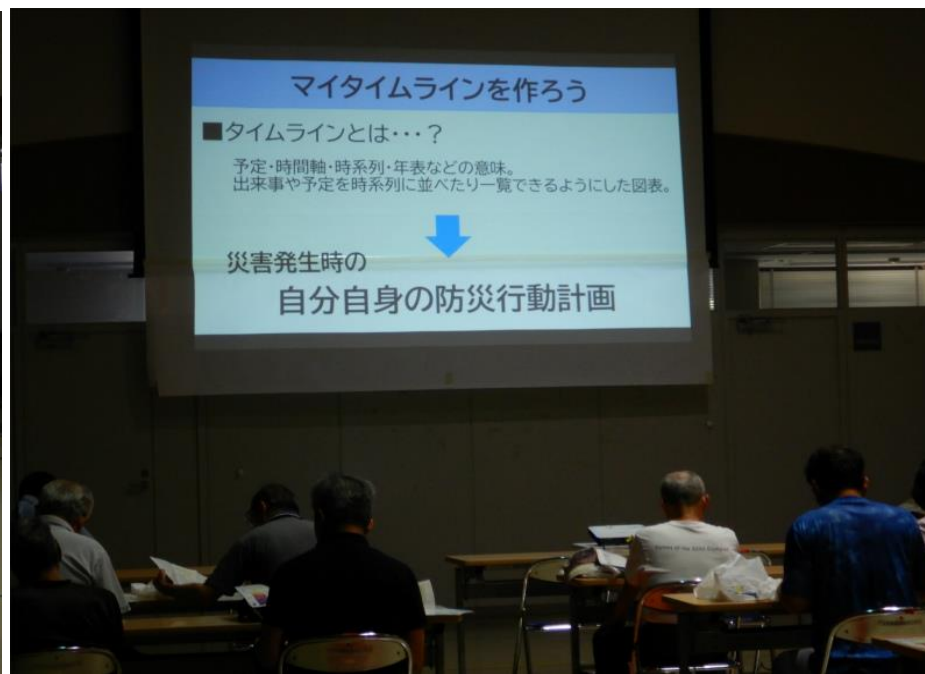
自治体名：小美玉市

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	洪水ハザード地区の住民を対象とした防災講座の実施

令和6年度取組状況

霞ヶ浦流周辺の洪水ハザード地区及びその周辺の住民を対象に避難訓練を実施し、その一環として防災についての講習を行いました。災害について全般的な話や備えのほか、ハザードマップを用いて居住区周辺の土砂崩れや洪水による浸水想定区域など災害の危険について幅広く説明をしました。

この講習の中で、マイタイムライン作成の説明をするにあたって、県で作成した様式を使用しました。



自治体名：茨城町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	風水害を想定した避難力強化訓練の実施

令和6年度取組状況

町民が台風や豪雨による洪水、地震など災害への認識を深めるとともに、備えを強化することで被害の軽減や災害を未然に防止する行動を取るなど、防災意識を高めるため、令和6年6月30日に風水害を想定した避難力強化訓練を実施した。訓練内容は①町民避難訓練、②避難所の開設・運営訓練、③災害情報伝達訓練、④避難行動要支援者避難訓練とし、災害に備えた実践的な訓練を行った。また、⑤防災学習・相談コーナーの設置や⑥防災備蓄品の展示を実施し、浸水想定区域・土砂災害警戒区域の周知や防災に関する町民からの相談対応等、町民の防災意識高揚に努めた。



自治体名：大子町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	水防災に関する啓発・説明会（及び避難訓練）の実施

令和6年度の取組状況

自主防災会が主催の防災訓練において「マイ・タイムラインの重要性」及び「避難行動要支援者の支援体制」について説明会を実施

【対 象】各地区自主防災会

【開催日】令和6年 6月22日（土） 長岡区自主防災会防災訓練 参加人数： 8人
 令和6年10月13日（日） 左貫本郷区自主防災会防災訓練 参加人数：35人
 令和6年11月 9日（土） 北田気区自主防災会防災訓練 参加人数：22人
 令和6年11月10日（日） 近町区自主防災会防災訓練 参加人数：37人

【目 的】令和元年東日本台風の被災経験を踏まえたマイ・タイムラインの説明による危機意識の向上及び平時の地域コミュニティ作りから始まる避難行動要支援者の支援体制について理解促進を図ることを目的とした。



自治体名：阿見町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	洪水浸水想定区域を対象とした住民避難訓練

令和6年度の取組状況

令和6年6月29日(土)、洪水浸水想定区域の住民を対象に、町から避難指示が発令されたことを想定した避難訓練を実施しました。町登録制メールや区長への電話を合図に最寄りの避難所に避難してもらい、受付要領確認やエアベッド等の資機材組み立て体験を行いました。訓練には、対象となる6地区から約60名の住民が参加しました。併せて町職員も避難所開設等の手順を訓練しました。

訓練には町内有志の防災士で組織された「防災アドバイザー連絡会」が立ち合い、避難に関する心構えや訓練に対する指導、助言を行いました。



自治体名：河内町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	河内町洪水広域避難訓練（阿見町受け入れ訓練）

令和6年度の実施状況

避難・技術力（自助力）向上を目的とした避難訓練

広域避難所への避難を実施

7月21日（日）、町内の浸水想定区域内に居住する住民に対し、災害時の避難情報に基づいて迅速に避難できるように、避難・自助力向上を目的とした町民参加による避難訓練を行いました。この訓練は、令和2年に河内町と阿見町で締結いたしました「大規模水害時における避難所等施設利用に関する覚書」に基づき実施しました。

また、阿見町、河内町の防災士が合同で三角巾、ベッド組立、ロープワークを指導しました。



自治体名：八千代町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	マイ・タイムラインを中心とした防災講座の実施

令和6年度の実施状況

団体(対象)	日時	場所	参加者数	協力
川西小学校 (5年生及び保護者)	6月27日(木) 13:30~14:15	川西小学校 2階ミーティング室	40名	八千代町防災士会
川西地区コミュニティ推進 協議会(一般住民)	9月28日(土) 10:00~12:00	久下田コミュニティセンター	30名	八千代町防災士会
中結城小学校 (4年生)	10月3日(木) 10:10~10:55	各教室	60名(2クラス)	八千代町防災士会
中央公民館自主事業 (中学生)	10月5日(土) 13:30~15:30	中央公民館 2階研修室	10名	
八千代町女性団体連 絡会(一般住民)	11月8日(金) 10:30~11:40	中央公民館 大ホール	120名	
西豊田小学校 (5年生及び保護者)	11月14日(木) 13:20~14:05	西豊田小学校 1階生活科室	60名	八千代町防災士会
東中学校 (1年生及び保護者)	12月16日(月) 14:45~15:30	体育館	100名	八千代町防災士会

○令和6年度 開催実績(見込み含む) 合計7回参加者合計約420名

○今後の課題

- ・各行政区単位での講座の開催
- ・マイ・タイムラインを活用した避難訓練や危険箇所の共有
- ・内容の充実(DIG、HUG、備蓄など単発ではなく数回を組合わせた複合的な講座としてパッケージ化して展開したい)
- ・町防災士会が主となって推進できるよう、体制の整備



自治体名：五霞町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時から住民等への周知・教育・訓練等に関する事項
実施内容	水害を想定した避難力強化訓練

令和6年度取組状況

降雨による災害の危険性が高まる出水期を前に、利根川での洪水を想定とし、町の災害対策能力の向上、町民の避難行動を起こす意識の向上と定着化を図ることを目的として「避難力強化訓練」を実施しました。

① 災害対策本部会議訓練

水害の各警戒レベルの推移に応じて、住民自主避難、高齢者等避難、避難指示に関する意思決定の訓練を実施。



② 避難所開所・運営訓練

避難所の開設（要支援者受入れ施設を実設）及び運営（参加者によるマイナンバーカードによる受付実施）



自治体名：境町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	① 情報伝達、避難計画等に関する事項
実施内容	防災アプリ「Sakainfo（サカインフォ）」のリニューアル

令和6年度の取組状況

防災アプリ「Sakainfo（サカインフォ）」が、マイナンバーカードを使用し、スマホ等に登録する新たな防災アプリ「New Sakainfo（ニュー サカインフォ）」としてリニューアルしました。これにより、現在のサカインフォの機能はそのまま新たな機能が追加され、避難所の受付に設置されたQRコードをスマホで読み込むだけで受付が完了するなど、より利便性が向上します。

境町 防災アプリ
更につかひやすく、便利になりました

ご家族皆で
スマホに
再ダウンロード！

POCKETSIGN

Sakainfo
あなたを守る
安心のためのアプリ

「ポケットサイン」アプリをダウンロードし、
今すぐマイナンバーカードで登録！

新しいアプリは、これまでの機能はそのままに
災害時避難所での受付もお手伝いいたします

これまでの機能はそのままに

- 全庁又は地区ごとに災害・避難情報をお届け
- 文字・音声で避難情報を繰り返し通知
- 町外でも受信・発信できる
- GPSで救助要請

さらにアプリを使って避難所でも簡単すぐ受付！

事前に登録しておけば、QRコードを読み込むだけで簡単すぐ受付！

スマホがなくても、マイナンバーカードで簡単受付
※アプリの事前登録が必要

アプリ、マイナンバーカードを持って避難できなかった方にはこれまで通り記入受付で対応します。

新Sakainfoアプリを使えば、最小限の待ち時間で避難所受付が可能になります
手書きの時のようにお待たせする時間も少なくなり、長蛇の列も少なくなります

受付待ち人数比

宮城県職員100人による実証実験では
100人の受付を2分12秒で完了！

登録された個人情報は暗号化され、安全に保護されます（※市の指定番号、個人番号は登録されません）。
アプリ運営会社「ポケットサイン」は、
・公的個人認証法の定める主務大臣認定事業者としての水準をクリア
・情報セキュリティマネジメントシステム 国際規格ISO/IEC 27001:2013 認証を取得

お問い合わせ 境町役場 防災安全課：0280-81-1308
ポケットサイン株式会社：https://pocketsign.co.jp/contact

【運用開始時期】
令和6年6月1日から

【新たな機能】

- ① マイナンバーカード登による登録
（個人情報の管理・認証が容易で正確・安全）
- ② QRコードの読み込みが可能
（避難所受付が迅速）
- ③ URLへのリンク、画像添付など
- ④ アンケート機能
（択一式、複数回答、自動集計）



【防災アプリによる受付】



【マイナンバーカード受付】【受付要領案内表示】

自治体名：境町

取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	令和6年度総合防災訓練（広域避難訓練）

令和6年度の実施状況

1 訓練概要

昨年度及び本年7月の洪水避難訓練成果を反映し、浸水域にある全町民を対象とした令和6年度境町総合防災訓練を実施した。本訓練は、利根川氾濫の危険性に伴う広域避難を焦点とし、災害対策本部会議の決定に基づく避難情報伝達訓練、町外の広域避難所へ避難（バスによる必要配慮者の輸送支援を含む。）を実施した。

2 防災訓練のデジタル化施策（新規）

- (1) 防災アプリ（QRコード）及びマイナンバーカードを使用した避難所受付
- (2) 国土交通省宇都宮国道事務所との合同デジタル防災訓練（4足歩行ロボット等による調査状況をWeb会議で共有）
- (3) 3D都市モデル浸水シミュレーション（利根川氾濫時の浸水状況を3Dマップで紹介）

3 時期・場所

- (1) 時 期：令和6年9月28日（土）
- (2) 場 所：役場及び茨城県立総和工業高校

4 訓練参加者

784人（避難者：534人（バス輸送42人、職員及び関係機関等250人）

【要配慮者のバス協会による避難輸送支援】



【防災アプリによる避難者受付】 【3D都市モデル浸水シミュレーション】



【宇都宮国道事務所との合同訓練】



取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	水防災に関する啓発・説明会（及び避難訓練）の実施

令和6年度の実施状況

防災訓練実施内容

6月16日（日）に、牛久市職員の協力のもと牛久市への広域避難訓練を実施しました。
 訓練参加者は、地区の代表者、防災士の方々と、マイ・タイムライン講習会受講後に、避難ルートの確認を行いました。

視察先は、布川地区が「牛久第一中学校」、「牛久南中学校」、文地区が「牛久第三中学校」、文間地区及び東文間地区が「おくの義務教育学校南校舎、北校舎」で、それぞれ大規模水害時の避難先となります。
 訓練上の避難先となっていた、牛久第三中学校では、牛久市役所防災課職員の方から施設の説明をしていただきました。



取組項目	(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組
事 項	② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
実施内容	水防災に関する啓発・説明会（及び避難訓練）の実施

令和6年度の取組状況

6月23日（日）に、町民を対象とした、「我が家のマイ・タイムライン作成講習会」を行いました。講習会では気象情報について、水害から身を守ること、いざという時の災害に備えて、自分たちはどのように行動するべきなのかを考え、町の洪水ハザードマップを見ながら、マイ・タイムラインを作成しました。



取組項目	(2) 的確な水防活動のための取組
事 項	① 水防体制の強化に関する事項
実施内容	水防資機材の配備と設置訓練の実施

令和6年度取組状況	導入した資機材
令和5年6月の大雨災害をはじめ、今後は、小貝川などの大規模河川のみではなく、市内の中小河川の越水による住宅浸水等のリスクが大いに想定されることから、河川の越水を迅速かつ効果的に防ぐ水防資機材として「水のう」及び「止水板」を配備した。	◎水のう タイガーダム（15m） 6本 ・水槽車や消火栓等を使って、1本で土のう約300個分を約10分で設置できる。 ・3本をピラミッド型に段積みすると、止水高さを底上げできる。一本の高さは約36cm。 ・長さの調整が可能（一本当たり12m～15m）。連結することで延長できる。
水のう設置訓練の実施	
水のう購入後、8月25日に龍ヶ崎消防署・龍ヶ崎市消防団・市役所が連携し、浸水被害発生時の水のう設置手順を確認する「水のう設置訓練」を実施した。	◎L字型止水板 ボックスウォール 34枚 ・止水高さ 100cm ・特殊工具なしで連結が可能。 ・水圧を利用して浸水をせき止める仕組み。 ・2m間口の設置時間は約1分30秒。

自治体名：常陸太田市

取組項目	(3) 氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組
事項	① 排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等に関する事項
実施内容	排水ポンプ車操作訓練

令和6年度の取組状況

- 今年度に配備された排水ポンプ車について、定期的な操作訓練を行い、氾濫発生時の迅速な排水活動に備えている。
- 常陸太田市建設防災協議会会員と実排水の作業支援について委託契約を締結し、有事の協力体制を確保している。

○排水ポンプ車仕様

全長： 7, 705 mm 車両総重量： 7, 870 kg
 全幅： 2, 285 mm 乗車定員： 2 名
 全高： 2, 770 mm
 排水量： 毎分 30 m³ (毎分 5.0 m³ の排水ポンプ × 6 台)
 排水距離： 最大 50 m 全揚程： 10 m



排水ポンプ車



排水ポンプ組み立て説明



排水ポンプ投入



排水ポンプ投入



排水の様子

自治体名：境町

取組項目	(4) 河川管理施設の整備等に関する事項
事 項	① 洪水氾濫を未然に防ぐ対策
実施内容	染谷川周辺 3 か年緊急冠水対策事業（上小橋地内染谷川橋梁の架設）

令和6年度の取組状況

1 工事の目的

ゲリラ豪雨等による大雨や台風時の道路冠水は、染谷川周辺を中心に頻発していたため、令和3年度から「染谷川周辺3か年緊急冠水対策事業」と位置づけ、集中的に河川改修を実施

今回の橋梁架設箇所は小さなボックスカルバートが設置されており、ボトルネックとなっていたところを大断面のボックスカルバートに整備した。

2 工事概要

- (1) 事業名 市街地地区道路整備事業（都市再生整備）
- (2) 場 所 境町上小橋五差路付近（町道1-23号線）
- (3) 規 模 ボックスカルバート長11.90m 幅員10.15m

【H27関東・東北豪雨冠水状況】



【着工前の状況】



【周辺図】



【空撮による景況】



【完成後の状況（R5.5）】



【下流側からの景況】